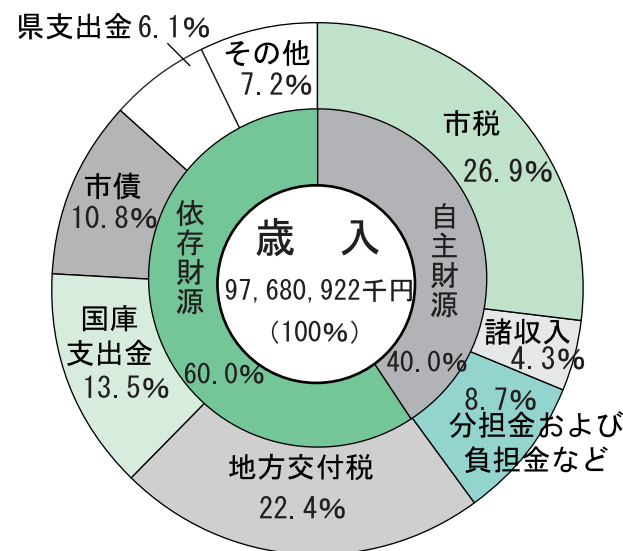


平成18年度 当初予算

一般会計は 976億8,092万円

3月定例議会で上程された18年度当初予算は、総額2,212億5,567万円です。
市の仕事の中心となる一般会計が976億8,092万円、国民健康保険などの特別会計が904億7,568万円、水道や交通などの企業会計が330億9,906万円です。

■歳入（一般会計）

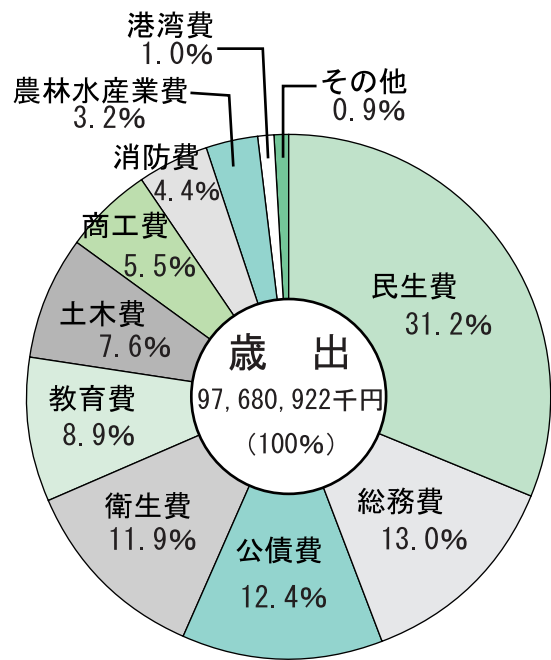


<主な収入> ()は前年度比

- 市税 262億7,000万円 (1.9%増)
市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
- 諸収入 42億3,246万円 (1.8%減)
- 分担金および負担金など 85億3,543万円 (6.7%増)
分担金および負担金、使用料および手数料など
- 地方交付税 219億円 (16.8%増)
標準的な財政運営に必要とされる経費(人口、面積、道路の延長などを基準に算出)に基づき国から交付
- 国庫支出金 131億4,889万円 (3%増)
生活保護、学校建設などに対する国の補助など
- 市債 105億2,840万円 (30.7%増)
市が借り入れるお金
- 県支出金 60億575万円 (34.7%増)
国民健康保険基盤安定などに対する県の補助など

<お金の使いみち> ()は前年度比

- 民生費 305億2,476万円 (8.9%増)
高齢者・障害者・子育て支援、生活保護など
- 総務費 126億6,131万円 (41.5%増)
戸籍・住民票交付、地域振興、財産管理など
- 公債費 120億9,695万円 (16%増)
市の借入金である市債の償還など
- 衛生費 116億4,856万円 (5%減)
病気予防、環境保全、ごみ処理など
- 教育費 86億9,723万円 (9.2%増)
学校教育、生涯学習、スポーツの振興など
- 土木費 73億7,789万円 (15.2%増)
道路や公園などの整備
- 商工費 53億3,098万円 (1.7%減)
地域産業の育成、観光客の誘致など
- 消防費 42億9,910万円 (2.5%増)
- 農林水産業費 31億7,167万円 (50.5%増)
農業、畜産、林業、漁業の振興
- 港湾費 9億9,564万円 (38.7%減)



グラフ中の計数は、それぞれ四捨五入しているの
で、計とは一致しない場合があります。

本市の台所事情は？

市に入る収入(歳入)の主なものは、市民の皆さんからの税金や国からの地方交付税などです。市税は、国の税制改革に伴う増税などの影響で1.9%の微増、地方交付税は16.8%増加しました。しかし、景気低迷の影響や三位一体改革の影響などで、全体的な歳入は、実質的には年々減少しています。

歳入が減れば、使えるお金、つまり歳出も減らさなければなりません。市民の皆さんが安心して暮らせるよう行政サービスを提供し続けるとともに、活力ある地域づくりに取り組まなければなりません。特に本年度は、昨年の吉井・世知原町との合併に続き、宇久・小佐々町と合併し財政規模はさらに大きくなりました。宇久・小佐々町を合わせた17年度の当初予算と比べると、3.3%増となりました。

やり繰りの方法

平成18年度予算も、各部局があらかじめ配分された一般財源の範囲内で事業を組み立てる「財源配分型予算編成方式」を採用し、経費節減に努めました。また、行政評価などによる事務事業の見直しや、合

併効果などにより捻出した財源で、重点施策に取り組むことができました。

経営方針に基づく3つの重点施策は、 幼児期から社会に出るまで一貫して支える子育て・教育の環境(社会システム)づくり 誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり 観光交流による活力あふれるまちづくりです。

しかしながら、財源不足は避けられず、約16億円と見込まれる実質的な不足分は、財政調整基金などの基金を取り崩し、充当します。

市民一人当たりで表示すると

- 平成18年度一般会計予算(使うお金) 約38万円
- 平成18年度末市債残高(借金) 約46万円
- 平成18年度末基金残高(預金) 約1万円
- 平成17年国勢調査速報値の1市2町の人口で割りました。



主な事業

- 子ども子育て応援センター(2,518万円)
- 子どもに関する総合相談窓口の設置
- 子どものインフルエンザ予防接種費用助成(6,650万円)
- 小学6年生までの予防接種費用の一部助成
- 少人数指導支援(7,912万円)
- 習熟度別学習の推進、非常勤講師(30人 35人)
- AED(自動体外式除細動器)の設置推進(720万円)
- AEDの公共施設設置 20基
- エコツーリズム推進(1,800万円)
- 基本計画の実践、普及啓発
- 西海パールシーセンター水族館整備(5,555万円)
- 食育(1,200万円)
- 食育推進会議設置、食育推進計画策定、食育のモデル事業
- 地域イントラネット、情報教育ネットワーク(7億4,000万円) 公共施設、学校に光ファイバー接続
- 市民斎場「西部芳世苑」の建替え(6億9,185万円)
- 西部クリーンセンター焼却灰溶融施設建設(12億5,200万円)
- 光センサーみかん選果機導入(6億4,729万円)
- みかん選果施設の整備に対する補助
- 栄・常盤地区市街地再開発(7億5,284万円)
- 市街地再開発に対する補助

会計別予算の内容(単位:千円,%)

会計別	平成18年度	
	当初予算額	前年度比
一般会計	97,680,922	10.7
特別会計		
住宅事業	2,610,386	24.3
国民健康保険事業	25,750,409	10.0
競輪事業	11,856,528	5.4
卸売市場事業	3,639,806	81.4
災害共済事業	41,794	13.8
土地区画整理事業	111,699	11.8
老人保健医療事業	28,015,214	3.8
地域交通体系整備事業	677	99.4
土地取得事業	325,176	116.7
介護保険事業	18,022,647	10.4
交通船事業	55,292	新設
集落排水事業	46,053	新設
小計	90,475,681	8.0
企業会計		
水道事業	9,732,206	12.7
下水道事業	7,587,091	7.2
交通事業	2,510,510	6.6
総合病院事業	13,269,257	1.1
小計	33,099,064	5.8
合計	221,255,667	6.8